

SAFETY DATA SHEET

September 1, 2018

1. 会社情報

製品名	OSHIROXサビ止めプライマー (OXC-SDP/W)
会社名	株式会社OSHIROX
住所	〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋4-1-55
部署	研究開発部
電話 / FAX番号	06-6690-7372 / 06-6690-7373

2. 危険有害性

物理的・化学的危険性:	引火性液体:		区分外	
健康に対する有害性:	急性毒性:	経口:	分類でき ない	
		経皮:	分類でき ない	
		吸入: ガス:	分類でき ない	
		吸入: 蒸気:	分類でき ない	
		吸入: 粉塵、ミスト:	分類でき ない	
			皮膚腐食性/刺激性:	区分 2
			重篤な眼の損傷/刺激性:	区分 2

呼吸器感作性:			分類できない
皮膚感作性:			分類できない
生殖細胞変異原性:			分類できない
発がん性:			区分 1
生殖毒性:			分類できない
特定標的臓器 / 全身毒性 – 単回:			分類できない
特定標的臓器 / 全身毒性 – 反復:			
	区分 1 (呼吸器)		
	区分 2 (呼吸器系)		
吸引性呼吸器有害性:			区分外
環境に対する有害性:	水生環境有害性:	急性:	区分 2
		慢性:	区分 2
	オゾン層への有害性		分類できない

危険有害性絵表示:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

- ・皮膚刺激
- ・強い眼刺激
- ・発がんのおそれ
- ・水生生物に毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に毒性
- ・長期ないし反復暴露による臓器 (呼吸器) の障害
- ・長期ないし反復暴露による臓器 (呼吸器系) の障害のおそれ

注意書き:

安全対策:

- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと
- ・使用前に取扱説明書を入手すること
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- ・この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと
- ・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
- ・環境への放出を避けること。

応急処置:

- ・皮膚 (又は髪) に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。

- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当を受けること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。
- ・気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。
- ・漏出物を回収すること

保管:

- ・施錠して保管すること

廃棄:

- ・内容物や容器を、国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って、都道府県知事の許可を受けた専門の業者に廃棄を委託する。

3. 組成 / 成分情報

単一化合物・混合物の区分 混合物

毒物・劇物の区分 該当せず

成分及び含有量（危険有害性物質を対象）

化学名又は一般名	CAS No.	官報公示番	濃度 (%)	備考
ジエタノールアミン	111-42-2	優2-302	1未満	
酸化第二鉄（赤色酸化鉄）	1309-37-1	1-357	0～10	
酸化亜鉛	1314-13-2	1-561	1未満	
二酸化チタン	13463-67-7	1-558	1～15	
コバルト及びその化合物	136-52-7	2-615	1未満	
二酸化ケイ素（シリカ）	7631-86-9	1-548	1未満	
ジブチル錫ジラウレート	77-58-7	2-2330	1未満	

官報公示番号の前の記号：一種（第一種特定化学物質）、二種（第二種特定化学物質）、監（監視化学物質）、優（優先評価化学物質）

4. 応急処置

目に入った場合：

直ちに清浄な流水で15分以上洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

まぶたの裏側まで完全に洗うこと。

すぐに痛みがなく視力に影響がなくとも障害が遅れて現れることがあるので、出来るだけ早く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合：

付着物を布にて素早く拭き取ること。

衣類を着用している部分に付着した場合、着用品を脱ぎ、水や石鹼にて洗浄すること。

大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには、医師の診断を受けること。

と。

吸入した場合：

蒸気を大量に吸い込んだ場合、直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

こと。

呼吸が不規則に止まっている場合は人工呼吸を行う。おう吐物は飲み込ませないようにすること。直ちに医師の診断を受けること。必要に応じ酸素吸入を行うこと。

蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合：

誤って飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
おう吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の処置

使用可能な消火剤
消火方法

- ・水、炭酸ガス・泡・粉末消火剤、乾燥砂
- ・周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の処置

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する
作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、保護衣、ゴーグル等）を着用する。

スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川などへの排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

流出物は密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関係法律に基づいて処理すること。

河川、排水路、湖沼、水路に流出し環境への影響を及ぼさないように注意する。

7. 取り扱いおよび保管

取り扱い:

取扱い場所は関係者以外、立ち入り禁止とする。

換気の良い場所で取り扱う。

容器はその都度密栓する。

皮膚、粘膜、着衣に触れたり、目に入らないよう、また、吸入しないように、適切な保護具を着用する。

取扱い後は、洗顔、手洗い及びうがいを充分に行う。

缶の取手は手下げ用であり、ロープ等で吊り下げることがはしないこと。

保管:

直射日光を避け、換気の良い場所に一定の管理のできる場所を定め、施錠して保管する。

本品は業務専用品（業務用）であり、部外者や子供が出入りしない場所に保管する。

凍結の恐れのある場所での保管はしないこと。

雨のかかる場所や湿気の多い所での保管は避けること。缶が腐食すると内容物が漏れ出すことがある。

8. 暴露防止措置 / 保護措置

許容濃度、管理濃度（職業的ばく露限界値、生物学的限界値）

成分名	管理濃度	許容濃度
ジエタノール	—	1mg/m ³
酸化第二鉄（赤色酸化鉄）	—	5mg/m ³ (Fe)
酸化亜鉛	—	2mg/m ³
二酸化チタン	—	10mg/m ³
コバルト及びその化合物	—	—
二酸化ケイ素（シカ）	—	10mg/m ³
ジブチル錫ジラレート	—	0.1mg/m ³ (Sn)

設備対策

屋内作業の場合には、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が蒸気などの曝露を避けられるような設備にすること。

呼吸器の保護具

作業を行う場合には、ミストなどの吸入を防ぐ適切な保護マスクを着用する。

手の保護具

有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具

取り扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護

取扱う場所には、皮膚を直接曝させないような衣服を着けること。または化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他

通電靴を着用する。

9. 物理的・化学的性質

外観:	常温にて液状
臭い:	僅かにアミン臭
pH:	8.0～10.0
融点、凝固点:	情報なし
沸点、初留点と沸騰範囲:	100.0℃
引火点:	なし
爆発限界 (n air, vol.%):	情報なし
蒸気圧:	情報なし
蒸気密度:	情報なし
比重 (相対密度) :	1.200～1.400 (25℃)
溶解性	情報なし
オクタノール/水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし

10. 安定性および反応性

安定性:	標準的条件での危険な反応はしない
避けるべき条件:	情報なし
混触危険物質:	情報なし
危険有害な分解生成物:	このものは燃えないが塗膜が燃えた場合、CO等の有毒ガスを発生。
その他の危険性情報	樹脂成分は空気中で酸化し、発熱、蓄熱する恐れがある。

11. 毒性情報

有害性情報

物質名	急毒/経口 (LD50:)	急毒/経皮 (LD50:)	急毒/ガス (LC50:)	急毒/蒸気 (LC50:)					
ジエタノールアミン	区分外	2300.00	区分外	13000.00	—	—	—	—	—
酸化第二鉄 (赤色酸化鉄)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
酸化亜鉛	区分外	5000.00	区分外	5000.00	—	—	—	—	—
二酸化チタン	区分外	20000.00	区分外	10000.00	—	—	—	—	—
コハルト及びその化合物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二酸化ケイ素 (シカ)	区分外	—	区分外	—	—	—	—	—	—
ジブチル錫ジラウレート	区分3	175.00	区分外	—	—	—	—	—	—

物質名	急毒/粉塵 (LC50:)	皮膚腐食	眼損傷	呼吸器	皮膚感作	生殖細胞	発がん
ジエタノールアミン	—	区分2	区分1	—	区分外	区分外	区分2
酸化第二鉄 (赤色酸化鉄)	—	区分2	—	—	—	—	区分外
酸化亜鉛	区分外	5.70	区分外	—	区分外	—	—
二酸化チタン	区分外	—	—	—	区分外	—	—
コハルト及びその化合物	—	—	—	区分1	区分1	—	区分2
二酸化ケイ素 (シカ)	—	—	区分外	—	—	—	区分1 A
ジブチル錫ジラウレート	区分2	0.07	区分2	区分2 A	—	—	—

物質名	生殖毒性	臓器/単回	臓器/反復	吸引呼吸
ジエタノールアミン	区分2	区分1	区分2	—
酸化第二鉄 (赤色酸化鉄)	—	—	—	区分3
酸化亜鉛	区分2	区分1	—	—
二酸化チタン	—	—	—	区分1
コハルト及びその化合物	—	—	—	—
二酸化ケイ素 (シカ)	—	—	—	区分3
ジブチル錫ジラウレート	区分1 B	—	—	区分1

急毒/経口：急性毒性/経口(mg/kg) 急毒/経皮：急性毒性/経皮(mg/kg) 急毒/ガス：急性毒性/ガス(ppm)
急毒/蒸気：急性毒性/蒸気(ppm) 急毒/粉塵：急性毒性/粉塵、ミスト(ppm) 皮膚腐食：皮膚腐食性/刺激性
眼損傷：眼損傷性/刺激性 呼吸器：呼吸器感作性 生殖細胞：生殖細胞変異原性 発がん：発がん性
臓器/単回：特定標的臓器/全身毒性 (単回ばく露) 臓器/反復：特定標的臓器/全身毒性 (反復ばく露)
吸引呼吸：吸引性呼吸器有害性

12. 環境影響情報

生体毒性:	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし

組成物質有害性 (環境有害物質を対象)

物質名	水生環境有害性 (急性)	水生環境有害性 (慢性)	オゾン層への有害性
ジエタノールアミン	区分2	区分3	—
酸化第二鉄 (赤色酸化鉄)	—	—	—
酸化亜鉛	区分1	区分1	—
二酸化チタン	区分外	区分4	—
コハルト及びその化合物	—	—	—
二酸化ケイ素 (シカ)	—	—	—
ジブチル錫ジラウレート	区分1	区分1	—

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ 容器、機械装置などを洗浄した排水は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・ 廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

汚染容器及び包装

- ・ 環境に配慮し、空容器は内容物を完全に除去後、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・ 許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約をして処理をすること。

14. 輸送情報

共通 取り扱い及び保管上の注意の項に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、店頭、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国内規制

国連番号	3082	指針番号	171
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従う。		
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。		
航空輸送	航空法の定めるところに従う。		

国際規制

国連番号	3082
国連輸送名	環境有害性物質（液体）
国連分類	クラス9（その他危険性）
容器等級	容器等級Ⅲ

15. 適用法令

労働安全衛生法	表示対象物質、通知対象物質
消防法	非危険物
化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）	該当せず
化学物質審査規制法（化審法）	優先評価化学物質
船舶安全法	有害性物質
航空法	その他の有害物件

16. その他情報

主な引用文献

SDS用化学物質データベース	一般社団法人 日本塗料工業会
SDS／ラベル作成ガイドブック（混合物用（塗料用））	一般社団法人 日本塗料工業会
GHS危険有害性分類結果（NITE）公表データ	独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）
化学物質総合情報公表データ	独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）
国際化学物質安全カード（ICSC）	
GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報	厚生労働省 職場のあんぜんサイト

本データシートは、作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱情報など）を集めて作成しておりますが、すべての情報を網羅したものでなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、安全性及び品質を保証するものではありません。

本製品のご使用に当たりましては、関係法規に従うと共に使用者において安全性の確認を十分に行ってください。